

本専攻の特色

1. グローバル時代の21世紀型の学校を担うにふさわしい教育のプロフェッショナル養成をめざします。第一線で活躍する教授と講師陣のもとで教育研究、教科教育、環境教育、ボランティア教育の最先端の知識と見識が培われます。
2. 学習目的から、教育基礎学コース、教育実践学コース、教育創造コースの3コースから最もふさわしい課程が選べます。
3. 専門家教育の中心は理論と実践の統合にあることから、各コースとも事例研究を充実させています。専門家として省察と判断の力を高めることができます。
4. ボランティア教育、市民性の教育、環境教育など、現代性の高い専門知識が得られます。
5. 目白駅から30秒という好立地のため、首都圏の方は在職のまま入学し履修をすることも可能です。5限（16時20分開始）と6限（18時開始）の授業を多数準備しています。

本専攻の掲げる 教職専門性の5つの基準

本専攻では、以下の5つの＜教職専門性基準＞を掲げてカリキュラムを編成し、高度の専門性と見識を備えた教師、教育行政関係者、教育研究者を養成します。

1. 教職の公共的使命を深く認識し、子どもの学びの委託に応える教育科学と学習科学を体得している。
2. 学問的教養と教職教養を基礎として、教科の内容と学び方について深い理解を形成している。
3. 学校と教室の文化的・社会的文脈について認識し、創造性と協同性を啓発する方法で教育実践を遂行する。
4. 教育実践について反省的で系統的な研究を行い、専門家共同体の一員としての同僚性を発揮して学校経営に参加し、教育の質の向上に貢献する。
5. 市民性の教育、ボランティア教育、環境教育、多文化教育など、現代の課題を担い、地域の保護者や市民、他の専門家と協同して学校教育の創造的革新を推進する。

本専攻の 3つのコースの特徴

本専攻は、以下の3コースを設け、目的別の教育を行います。入学後、各コースに分かれて専門的指導を受けます。コース間の境界は緩やかで、他コースの履修は自由です。

◆ 教育基礎学コース

教育学の専門的研究を中心とするコースです。最先端の教育学の知識を教育し、高度の専門性を備えた教師（前期課程、後期課程）、教師教育に携わる研究者（後期課程）を養成します。

◆ 教育実践学コース

授業研究、各教科教育研究を中心とするコースです。21世紀型の授業と学びを推進する専門性の高い教師（前期課程、後期課程）、教師教育に携わる研究者（後期課程）を養成します。

◆ 教育創造コース

市民性の教育、ボランティア教育、環境教育など、教育の現代的課題を中心に専門性の高い教師（前期課程、後期課程）、教師教育に携わる研究者（後期課程）を養成します。

入試科目

博士前期課程

教育学専門Ⅰ、教育学専門Ⅱ、外国語原書講読（英語、外国人受験生は日本語）、口述試験

博士後期課程

論文、外国語原書講読（英語、外国人受験生は日本語）、口述試験
（教職3年以上の経験者（非常勤を含む）は、外国語原書講読の試験に辞書持ち込み可）

* 詳しくは、学習院大学文学部教育学科事務室

(☎03-5992-1267

Email: edu-off@gakushuin.ac.jp)

にご連絡ください。